

東日本大震災 今後の支援は…



今年3月11日に東日本大震災からまる7年が経ち、震災直後より支援を続けている岩手県九戸郡野田村を訪問しました。今回の目的は慰霊式に参加することと、1月の交流事業の報告会のためです。

前者の会場はこれまでの体育館ではなく、新たに慰霊碑が設置された「ほたてんぼう台」で行われました。私達のご遺族の方々や関係者が着席するテントの外側で見守りましたが、小田村長の「ハードの復興は

ほぼできてきた。今後はソフト面での復興に取り組む」という言葉を聞き、私達の支援のあり方も考える必要があると思いました。

私は当初より子どもたちの支援をするために動いてきましたが、村長の仰るようなソフト面での復興を支援してきたのか、また今後も提案できるのか甚だ疑問です。平成24年度より実施してきた「西宮招待事業」を、29年度は「西宮交流事業」と変え、子どもたちの交流を推し進めようとしています。村側も今までにない関心を示し、3月11日の夕方からの報告会には、小田村長を始め、副村長、教育長、小中学校長と、主立った方々も参加してくださいました。その会場で同事業の経緯を説明し、6年続けてきたことで野田村の子どもたちがどのように変化したか、また阪神大震災の被災地である西宮の人たちがどれほど癒されているかを報告しました。その後の懇親会には前述の皆さんも保護者たちと共に参加。和やかな雰囲気でお話しました。そして最後に今後も子どもたちの交流を続けよう！と全会一致で決め、30年度は村も前向きに取り組んでいくことなどを話しました。

今回の野田村行きではこのほか、村内の児童デイサービスや、保育所、社会福祉協議会などを訪ね、今後私達に何ができるのかを探ってきました。（NVNAD理事 米山清美）



※野田村の子どもたち西宮交流事業：平成24年度(25年1月)より始まった事業で、野田村の小中学生と保護者を西宮に招待する。近年は1.17の震災事業にも参加している。

- c o n t e n t s -

- P1・・・ 東日本大震災 今後の支援は…
- P2・・・ 東日本大震災を乗り越えて/Vision 117
- P3・・・ 九州北部豪雨災害 その後/笑顔プラス/避難所運営訓練/第2回よどがわ防災まつり
- P4・・・ 災ボラ会定例会/防災マップづくり/みやもん/親子でわがまち探検隊
- P5・・・ 佐用町活動報告/KSN交流会/子ども防災クラブ/高木春まつり
- P6・・・ 都市農園プロジェクト/健康防災基金/寄付のお願い
- P7・・・ Nうごき/Nごよみ
- P8・・・ 会員・寄付者・募金者のみなさま/表彰式のご報告/編集後記

東日本大震災を乗り越えて

東日本大震災から7年を迎え、今年もまた3月11日郡山市喜久田町にある東原復興住宅集会所で追悼行事をさせていただきました。

この復興住宅は、東京電力福島第1原発のある、大熊町、双葉町の皆さんが中心に入居されていますので、帰還するまでにはまだまだ時間を要する人たちです。

仮設住宅がほとんど閉鎖になり、改めて抽選で入居されたことで、7年かけて作り上げてきたコミュニティーをまた一から築き上げなくてはなりません。住民の多くは高齢者のため避難生活で疲弊した上に新たなコミュニティーを作り上げることが思うようにいかないケースが多い中、この復興住宅では比較的皆さんの参加が多い団地です。

午前中は住民の皆さんと手作りまんじゅうを作りお茶会を楽しみ、午後からろうそくを並べ地震の発生した2時46分に全員で黙とうをささげました。

この団地では毎月第4日曜日にNVNADから支援いただいているお茶菓子を食べながら、饅頭や柏餅などを作り楽しくおしゃべりしながらのお茶会を続けています。私たちはこれからも派手さや目新しさはありませんが静かに被災者にただ寄り添い続ける活動を続けたいと思います。(ハートネットふくしま理事長 吉田公男様：筆)



Vision 117

今年の5月12日は、四川大地震から10年になる日です。平日午後2時台に発生した地震で学校や職場で犠牲になった人々が多かったこと、南海トラフの際に予想されている範囲に匹敵する広大な範囲で発生したこと、経済成長期に発生した災害であり富める省・市が被災地を分担して支援する仕組み(対口支援)があったこと、そして、中国の「ボランティア元年」と言われる活動が盛んに行われたことなど多様な特徴と多くの教訓を残す災害でした。NVNADでは、被災直後から現地入りして少しお手伝いをさせていただきました。その後、東日本大震災での活動が圧倒的になって、現地の方々とはつながりつつも、十分な活動ができていなかったと感じております。

今月半ば、久しぶりに、被災地に行って参りました。建物や道路に関しては、あの頃現地で見た復興想像図の通りの風景を見ることができました。しかし、当然ながら、まだまだ大変な生活を送っておられる方々も多く、今回もそうした方々のお話を伺ってきました。また成都市で開催された防災と復興に関する2日間にわたる会議に出席しました。1日目のテーマは防災。各地の取り組みが報告され、私どもも「わが街再発見ぼうさい探検隊」や先日西宮で実施した「みやもん」(NPO法人北いわて未来ラ

ボ)について報告しました。2日目は、復興への取り組みが報告され、日本からは、CODE海外災害援助市民センター(神戸市)の吉椿氏が現地光明村で取り組んでこられた活動について報告されました。

今回は、実践面・研究面で多くの事柄を学び、考えることができた充実した訪問でした。NVNADとしましては、(1)防災学習は日中での共同開発・実践・研究が大きな実りをもたらすだろうと確信しましたので、今後の交流を深めることを話し合ってきました。また、(2)復興支援活動については、長期間にわたって被災者に寄り添うというスタイルは日本よりもむしろ四川省の被災地で行われていると感じましたので、今後また機会があれば現地に学びに行ってお手伝いの活動をレベルアップしていきたいと思いました。

中国四川との交流が再度活発になることを願いつつ、改めて、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、復興へのご尽力されている皆さまに敬意を表します。(理事長 渥美公秀)



被災地北川にて

九州北部豪雨災害 その後

3月16日～17日、九州北部豪雨災害の被災地である福岡県朝倉市と大分県日田市を訪問しました。朝倉市の杷木小学校にある仮設住宅や日田市の夜明にこにこ保育園をはじめ、これまで何度か訪れた場所を回りました。仮設住宅の集会所では、地元のボランティアグループにより色々なプログラムが実施されているようで、5月や7月には地元主催の復興イベントなどが計画されていました。また、安否確認のために各家庭の玄関に黄色い旗を毎日目印に掲げられる取り組みをされていました。



朝倉市では今現在でも至る所に重機が入っていて、堆積した土砂を運搬する作業が行われています。豪雨災害から約9か月が経過しましたが、生活の再建など復興にはまだまだ時間がかかるように感じました。我々としても今後の活動を再検討していきたいと思えます。

近畿ろうきん 笑顔プラス



3月23日、近畿ろうきん本部（大阪肥後橋）にて、今年4月からスタートする新制度 社会貢献預金『笑顔プラス』の合同説明会が開催されました。この新制度は、これまでの「すまいる」に代わる新たな預金制度で、預金者から預けられた意志あるお金が、近畿圏内で活動する12の非営利団体に寄附されるという金融機関ではとても珍しい素敵な仕組みです。本会も災害救援や防災活動の団体という位置づけで、寄付先団体として認定いただいています。

近畿圏内で大規模災害が発生した際には、この寄付金を有効活用させていただきます。『笑顔プラス』に関しては、近畿ろうきんのホームページをご覧ください。

避難所 運営訓練



2月2日、西宮市受託事業として、西宮市立東高校にて避難所運営訓練（HUG）の体験型を開催しました。授業の一環として約40名の生徒さんにご参加いただき、地震が発生したとの想定で、まず、避難所の運営ボランティア役と避難者役に分かれてから始めました。避難所である高校に、設定条件が書かれたカードをもった被災者役が次から次へと避難してきて、どの場所に誘導するかを運営ボランティア役が指示するという流れで行いました。途中「毛布200枚が到着するが荷降ろしする場所は？」や「取材記者用の駐車場はありますか？」など書かれたイベントカードも提示され、その都度対応を考えてもらいました。今回初めての試みで進行上の課題点も多々あったことと思いますが、東高校の皆さんがとてもよく頑張ってください、HUGのカード体験よりリアルで身に付く訓練になったのではないかと思います。ご協力くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

第2回よどがわ防災まつり

2月17日、ラポールひらかたにて枚方市社会福祉協議会主催「第2回よどがわ防災まつり」が開催されました。このまつりは、産・官・学・労・民が連携して開催することで、分野を超えたつながりづくりの場となり、災害時にスムーズな連携が図れるよう2016年にスタートした防災イベントで、NVNADも共催団体として関わらせていただいています。

今回は、体験型の防災コーナーを多数実施。企業は多彩な防災コーナーを展示していただきました。当日の来場者は約600人で、楽しみながら防災について色々と学んでいただけたのではないかと思います。また、実際に災害が起こった場合を想定して「災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション」も同時開催されました。枚方市社会福祉協議会の皆様には、準備から当日の運営まで、色々とお世話になりました。この防災イベントでのつながりが、これからも広がっていくことを願っています。

災ボラ会定例会 100回

3月22日、大阪府柏原市社会福祉協議会が入っている施設「オアシス」にて、柏原市災害ボランティアコーディネーター会（以下、災ボラ会）の記念すべき100回目の定例会が開催され、久しぶりに出席してきました。この災ボラ会は、将来柏原市で大災害が発生した場合、災害ボランティアセンターに駆け付けたボランティアをコーディネートすることを主な目的に、柏原市社会福祉協議会のもとに、2009年12月22日に発足したボランティア団体です。発足当時から少し関わらせていただいておりますが、この災ボラ会の魅力は、メンバー同士がいつも切磋琢磨しながら自主的に活動されているところで、そこがとて素晴らしいと思います。今後も、予期せぬ災害に備えて一緒に頑張ってください。

防災マップづくり

==== 西宮市委託事業 ====

2月3日と10日、西宮市立樋ノ口小学校にて「防災マップづくり事業」を実施させていただきました。1日目(3日)は、グループに分かれてまち探検を行い、子どもたちの目線で、災害時に危険なポイントを探してもらいました。一緒に同行して下さった保護者の方には写真を撮影していただき、学校に戻ってから、あらかじめ用意していた大きな地図に危険箇所を示す赤印のマークシールを貼って、防災マップのベースを作成してもらいました。2日目(10日)は、前回作成したベース地図をもとに地元青少年愛護協議会の皆様が整理して下さった地図や写真などを教室内に貼りだし、危険な場所や安全な場所について、子どもたちに意見を出し合ってもらいました。そして最後、熊本地震と九州北部豪雨災害のスライドを見てもらいながら、被災地での被害の様子などをお話しさせていただきました。この2日間で実施したプログラムのもとに、学校内に掲示する大きい防災マップと、各家庭に配布する小さい防災マップを仕上げていくことになります。この事業の実施にあたり、地元樋ノ口町青少年愛護協議会の皆様をはじめ、樋ノ口小学校の皆様にご多大なご支援ご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。



防災イベント



みやもん

2月18日、西宮の高木地区にてiPadを使ったまち探検プログラムの実証実験を行いました。このプログラムは、岩手県にあるNPO法人北いわて未来ラボさんとの共催で、大阪大学の渥美研究室の学生さんにもご協力をいただきました。参加した子どもたちは2班に分かれて、iPadに表示される情報を確認しながらチェックポイントを探して行くという内容です。まだまだ試行錯誤の段階ではありますが、今後、より具体的なプログラムにしていければと考えています。岩手県からお越しく下さったNPO法人北いわて未来ラボの皆様、遠路はるばる本当にありがとうございました。

★ ★ 親子でわかまち探検隊 ★ ★

3月3日西宮の高木公園にて、市の受託事業として「親子でわかまち探検隊」を地元の高木公園管理運営協議会と高木地区青少年愛護協議会との共催で開催しました。

当日は親子連れを中心に約110名の参加があり、自分たちの住む町の公園にある防災倉庫、緊急貯水槽などの防災設備を再確認し、使用方法などを体験することで、災害発生時に役立つよう実施しました。

主なプログラムは、①地区防災倉庫機材の紹介とデモ ②マンホールを利用した緊急時トイレ場所の確認と個室トイレの設置 ③阪神・淡路大震災および緊急貯水槽のDVD鑑賞 ④西宮市水道局の方から高木公園内にある緊急貯水槽の機能の説明を受け、実際に給水の体験 ⑤NVNADによる九州北部豪雨災害の報告、そして最後に非常食の試食体験という内容でした。阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた高木地区ですが、教訓を忘れず、次世代に伝えていくことの大切さを改めて感じました。最後になりましたが、西宮市上下水道局の皆様、ご協力ありがとうございました。



佐用町活動報告



3月10日～11日、チャコネットの学生さんたちと佐用町に行ってきました。今年度最後の活動で、コミュニティカフェの恒例行事となりました『地元の方々によるチャコネット大学4年生のための卒業式』が開催されました。今年も一年間、竹炭焼きから畑作業に至るまで、久崎の皆様には本当にお世話になりました。来年度、また新たなメンバーで活動を継続していければと思います。引き続きよろしくお願いたします。

4月7～8日の1泊で、チャコネットのメンバーと兵庫県佐用町に行ってきました。7日は恒例のコミュニティカフェを実施し、カフェ終了後は、翌日のイベントの準備をしました。翌8日は笹ヶ丘ドームにて「桜まつり」が開催され、チャコネットは昨年に続いて「子どもの遊びコーナー」を担当させていただきました。ヨーヨー釣り、バルーンアート、竹炭石けんづくり体験の3つのブースを出展しましたが、たくさんのお子どもたちが遊びに来てくれ大変盛況でした。今年も大変お世話になりました笹ヶ丘荘の皆様をはじめ、佐用町役場の皆様にご心よりお礼申し上げます。



KSN交流会

K S N
 (関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)

3月21日、西宮浜にて今年度最後のKSN交流会を開催しました。貝類館（西宮市にある貝類専門の博物館）を自由に見学したあと、隣の公民館に移動して昼食をとり、ポイントラリーや運動会など、学生企画の楽しいプログラムを実施しました。そして、1年間の活動を全員で振り返り、最後には4回生の学生一人ひとりから想いの込められたメッセージを聞きました。企画や準備で大変お世話になりました関西学院大学関ゼミ生の皆様、西宮市社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。



子ども防災クラブ



3月3日高木北小学校にて、今年度最後の活動となる第6回子ども防災クラブを行いました。プログラム前半は、1年間の活動を振り返りながらクイズを楽しみました。どの活動もついこの間のようで、懐かしい映像に参加者全員で盛り上がりました。後半は、防災に関するグッズの絵と自分が描きたい題材を自由に描いてもらい、プラ板を作成しました。ストラップにして持ち帰ってもらいましたが、防災クラブで得た知識とともに大切にもらえる嬉しそうです。学生リーダーの皆さん、1年間ご協力下さりありがとうございました。



高木春まつり

西宮市の高木公園にて恒例の高木春まつりが開催され、当団体も毎回好評の魚釣りゲームの模擬店を実施しました。小さいお子さんや小学生と一緒にスタッフともども楽しんだ一日でした。



都市農園プロジェクト

始動!



西宮市高木地域のみなさんにご協力をいただき、昨年より畑作業を開始しました。雑草や暑さと闘いながら、昨年は大根やブロッコリーなどを収穫することが出来ました。現在はむらさき玉ねぎが美味しそうにすくすくと育っており、先日はトマト・きゅうり・なすなど夏野菜の苗を植えました。少しずつですが、前進しています。

市街地における農地は、平常時には、野菜作りなどを通じて子どもから高齢者まで地域の方の交流を深める場として使うとともに、災害時には収穫した野菜を自炊の食糧に出来るほか、延焼を食い止めたり、避難場所にもなります。この『都市農園プロジェクト』を通じて、地域コミュニティの輪が広がり、災害時にも役に立つ仕組みづくりにつながればと考えています。

クワやカマ、肥料や苗の購入、耕運機の燃料代などが必要になります。この活動を応援していただける方は、是非下記までご支援ご協力よろしくお願いたします。



お知らせ

健康防災基金を設立しました!!



2018年4月1日、「健康防災基金」を設立しました。

市民1人ひとりが日頃から元気で健康であることが、災害時のスムーズな避難や、避難所生活を乗り切れる体力維持などにつながるものと考えています。つまり「健康」であることが「防災（減災）」につながると確信しています。

そこで、本会として今後「健康」と「防災」をキーワードにした取り組みに力を入れていきたいと考えており、例えば、「都市農園プロジェクト」や「ウォーキングプロジェクト」などを企画実施していきたいと思っています。

ただ、これらのプロジェクトを推進していくためには、多くの市民や企業、団体の皆様から運営のための資金（寄付）を募る必要があります。そこで、この度「健康防災基金」の設立に至りました。

なお、活動内容などについては、随時ホームページに掲載していきたいと思っています。皆様からのあたたかいご支援をお待ちしております。

NVNADを支えて下さい

都市農園プロジェクトを各地に広げるほか、様々な企画を通して、災害に強いまちづくりを推進してまいります。何卒ご協力をお願い申し上げます。

「健康防災基金」専用口座

【振込銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 No.8797362

(名義) 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は税制優遇を受けることが出来ます。住所と連絡先をお知らせ下さい。


Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

2月	2日	西宮市立東高等学校HUG (西宮市)	
	3日	樋ノロ小学校防災マップ 第1回目 (西宮市)	
	10日	樋ノロ小学校防災マップ 第2回目 (西宮市)	
	14~15日	防災研究会 (兵庫県上郡町)	
	17日	Newsletter vol.114発行	
	17日	よどがわ防災まつり (大阪府枚方市)	
	18日	防災イベント「みやもん」実施 (西宮市)	
	22日	防災講演会 (兵庫県尼崎市)	
	24日	災害ボランティア講座 (三重県多気町)	
	3月	3日	
3日		第6回子ども防災クラブ (西宮市)	
5日		災害ボランティア講座 (奈良県大和郡山市)	
9~12日		郡山市訪問 (福島県)	
10~11日		佐用町訪問 (兵庫県)	
11~13日		野田村訪問 (岩手県)	
16~17日		九州北部豪雨災害支援活動 (福岡県)	
21日		KSNプロジェクト交流会 (西宮市)	
22日		災害ボランティアコーディネーター定例会 (大阪府柏原市)	
23日		近畿ろうきん合同会議 (大阪市)	
27日	通常理事会 (西宮市)		
28日~29日	熊本地震支援活動 (熊本県益城町)		
4月	8日	佐用町桜まつり (兵庫県)	
	11日	防災研究会 (兵庫県上郡町)	
	22日	高木春まつり (西宮市)	

Nごよみ

5月以降の予定・講演などのスケジュール

5月	9日	防災研究会 (神戸市)	
	10日	通常理事会 (西宮市)	
	12日	佐用町訪問 (兵庫県)	
	17日	Newsletter vol.115発行	
	19日	野田村ファンクラブのつどい (大阪府吹田市)	
	25日	近畿ろうきん合同会議 (大阪市)	
	26日	NVNAD会計監査 (西宮市)	
	27日	防災講演会 (三重県松阪市)	
6月	16日	NVNAD通常総会 (西宮市)	

～会員・寄付者・募金者のみなさま～

■会員のみなさま（2018年2月1日～4月30日）

個人正会員：「継続」北村 英夫、桐山 裕文、林 幹高、松野 博、三好 紀昭、植木 和夫、森川 博雄
山岸 裕吉、舟知 正、南 義彦、魚島 侑子、二宮 英夫、齊藤 秀子、萩野 茂樹
谷原 和憲、萩原 迪子、平川 りつ子、片岡 幸壺、池田 直樹、梶 昌代、ハツ塚としえ
マツモト キヨコ、田中 正秀、檜垣 龍樹、花岡 豊

個人賛助会員：「継続」荒銀 昌治、荒銀 和子、戸口 始、戸口 裕子、戸口 京子、谷淵 啓子
御内 真理、前内 安一、中川 純子、三池 好子、葉 千鶴子、米谷 収、御松 鋼
小栗 優子、秋山 洋子、赤対 泰、赤対 美千代、掛水 須美枝、渡辺 保、渡辺 鶴子
菅野 秀徳、菅野 好恵、鶴田 芳樹、石川 智子、忽那 須美男、中垣 伸、吉岡 啓次
志賀 理恵、山田 明子、中島 久美子、山口 元、大里 恵子、原田 陽子、小村 英子
藤森 町子、鈴木 憲一、田中 恵子、朝井 朋子、中村 三佐子、森 永壽、廣瀬 輝男
今井 曜子、石井 保江、渥美 久栄、ハツ塚 一郎、平井 芳明、小林 良彦、小林 静子
渡辺 由子、谷孝 大、高橋 聡子、渡辺 清武、三浪 治子、宮城 久代

法人正会員：「継続」株式会社笑顔の食卓、株式会社関西技術コンサルタント

法人賛助会員：「継続」株式会社京佐興産

団体正会員：「継続」社会福祉法人光朔会オリンピア、宗教法人真如苑

■寄付者のみなさま（2018年2月1日～4月30日）

「一般」：舟知 正、掛水 須美枝、渡辺 保、渡辺 鶴子、魚島 侑子、二宮 英夫、忽那 須美男
吉岡 啓次、山田 明子、戸口 京子、池田 直樹、渥美 久栄、小林 静子、宮城 久代
宗教法人真如苑、近畿労金NPO寄附システム契約者の皆様
ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

■募金者のみなさま（2018年2月1日～4月30日）

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ、今井 千郎、林 誠一、平谷 真彦、鶴田 美紀代
宗教法人真如苑

「九州北部豪雨災害」津市ボランティア協議会の皆様、宗教法人真如苑
高木春祭りにご来場のみなさま

■ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

表彰式のご報告

1月27日に東京の損保会館で行われた「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール表彰式」に参加してきました。今年は2,582作品が寄せられ、表彰式では入賞した9作品の応募者の皆さんに表彰状と記念品をお渡しさせていただきました。このコンクールがさらに充実したものとなり、防災の活動やまちづくりに取り組む地域が今後ますます増えていくことを願っています。

編集後記

4月に入って急に気温も高くなり、すでに真夏日のところも出ています。5月～7月の3か月予報では、平年より気温も高く、梅雨時期の降水量も多くなる予報です。これからの季節、集中豪雨による川の氾濫や土砂災害などに、一層の警戒が必要になりそうです。河川や山の近くにお住いの皆さんは、特に避難場所の確認を事前をお願いします。（H.T）

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀